

村上市上下水道事業審議会 議事録（要約版）

会 議 名	第3回村上市上下水道事業審議会		
年 月 日	平成30年7月25日（水） 14:00～16:30		
会 場	村上市役所 5階 第5会議室		
出席委員	大串葉子、鷺見英司、梅田久子、竹谷省吾、吉野敦、佐藤あい 【委員6人】		
欠席委員	鈴木信嘉、渡辺明		
事務局	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 下水道課 課 長 早川明男 課長補佐 志村 悟 係 長 渡邊貴志 係 長 臼井信一 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 水道局 局 長 川村甚一 参 事 山田広良 次 長 内山治夫 副参事 菅原和英 副参事 東 敏之 副参事 宮村 勉 主 査 星 梓 </td> </tr> </table> <p>村上水道事務所 所 長 加藤権治郎 荒川支所産業建設課 課 長 佐藤義信 朝日支所産業建設課 課 長 大滝清考 山北支所産業建設課 課長補佐 富樫明宏 【事務局 15人】</p>	下水道課 課 長 早川明男 課長補佐 志村 悟 係 長 渡邊貴志 係 長 臼井信一	水道局 局 長 川村甚一 参 事 山田広良 次 長 内山治夫 副参事 菅原和英 副参事 東 敏之 副参事 宮村 勉 主 査 星 梓
下水道課 課 長 早川明男 課長補佐 志村 悟 係 長 渡邊貴志 係 長 臼井信一	水道局 局 長 川村甚一 参 事 山田広良 次 長 内山治夫 副参事 菅原和英 副参事 東 敏之 副参事 宮村 勉 主 査 星 梓		
傍 聴 者	2名		
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 挨拶 3. 議 事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 上下水道料金について <ol style="list-style-type: none"> ① 水道料金（従量料金）のシミュレーションについて[資料1] ② 下水道使用料（従量料金）のシミュレーションについて[資料2] 4. その他 <ol style="list-style-type: none"> (1) 事務連絡 5. 閉 会 		

事務局	<p>1. 開 会</p> <p>配布資料の確認及び傍聴者への注意事項を説明の後、委員総数 8 名のところ、6 名の出席により村上市上下水道事業審議会条例第 6 条第 2 項の規定に基づき、本日の会議は成立することを報告する。</p> <p>4 月より人事異動に伴い交代となった委員 2 名（竹谷省吾委員、吉野敦委員）を紹介。</p>
事務局	<p>2. 挨拶</p> <p><下水道課長挨拶></p> <p><水道局長挨拶></p>
会 長	<p><会長挨拶></p> <p>3. 議 事</p>
事務局	<p>(1) 上下水道料金について</p> <p>「水道料金（従量料金）のシミュレーションについて」説明…資料 1</p>
委 員	<p>母子家庭や高齢者の一人暮らしなど、料金減免されているところはあるか。</p>
事務局	<p>漏水により減免制度はあるが、福祉的な減免はおこなっていない。</p>
委 員	<p>墓地なども免除はないのか。</p>
事務局	<p>用途よっての免除はない。</p>
委 員	<p>ごみ置き場なども免除はないのか。</p>
事務局	<p>すべて料金はいただいている。</p>
会 長	<p>村上市の中心となる村上地区、荒川地区の世帯が、構成世帯人数が少ないのであれば、どのパターンであっても受け入れやすいのではないか。</p>
事務局	<p>少人数世帯にとっては 1 月当たり 10 m³までは統一が済んでいるので、影響が少ないと考えられる。逆に、大量に使う企業など使用量の多いところは影響が大きいと考えられる。</p>
会 長	<p>世帯構成人数比はどのようになっているか。例えば、三人世帯と四人世帯がほぼ 9 割で、だいたい 20 m³から 30 m³の間におさまるとか。</p>
事務局	<p>第 2 回の資料で使用量の分布という表を示しているが、13mm の平均使用量が 17 m³ということで計算している。17 m³というのは人数でいうと、三人くらいと考える。手持ちの資料で世帯分布、世帯人数の構成については載っていないので、次回までに必要があれば提出する。</p>
会 長	<p>30 m³使った場合、非常に大きく上がっているが、実際にその 30 m³使う家庭が少ないのであれば、あまり考慮しなくていいのではないか。</p> <p>どのくらいの世帯がここにあてはまるということを教えてもらうとイメージがわかりやすいのではないか。</p>
事務局	<p>次回までに準備する。</p>
委 員	<p>平均的なモデル家庭などでのシミュレーションはできないのか。</p>

会 長	構成人数がこれぐらいの世帯が一番影響があるのではないかなど、モデル像があればイメージがつかめるのではないか。
事務局	次回までに準備する。一人当たり月平均 7 m ³ 程度と考えられるが、家庭によって使用状況が変わってくる。標準的なパターンを準備させてもらう。
会 長	市民は自分の立場で料金がどれくらい違うのかを考えるとと思う。大きな支払いのところに入ってしまう家庭には説明が必要となるので、ぜひお願いしたい。
委 員	逦増料金の段階が複雑なものフラットなものでは、制度的には特徴があるのか。給水人口の設定で、人口減少の予想が 10% 下回ったケースはこれぐらいだとか確認しておいた方が、議論の中ではわかりやすいのではないか。
事務局	人口の設定は村上市の人口ビジョンに基づいている。3 パターンある中の、最も人口の少ないパターンで設定しているので心配はないかと考える。平成 22 年国勢調査での人口推計と平成 27 年国勢調査を比較したときには、推計値より若干増えているので人口ビジョンもそれほどずれてはいないかと考えられる。 逦増料金の段階のパターンは日本水道協会でも調査されていたかと思うが、三段階、四段階が一番多いパターンであった。
委 員	平成 27 年国勢調査の新しい推計は平成 22 年国勢調査よりも人口が高めにでていたということか。
事務局	平成 22 年国勢調査の推計より若干高めにでていたということである。
会 長	平成 37 年にすべての団塊世代が 70 歳、75 歳を超えるようになってくると一気に変動が起こるという点では、次のシミュレーションは気を付けなければならない。
委 員	家庭の世帯ごとのシミュレーションを今度提出するとのことだが、大口の利用者の方もシミュレーションしておいた方がいいのではないか。
事務局	大口も何件か大きい方から選定させてもらう。
委 員	大口は地区で限られているか。
事務局	村上地区に多いが、他の地区にもある。
委 員	大口の需要者がどこの地区にいるかによって影響が変わってくると考えられる。一般家庭の料金を少し操作しても影響は少ない。大口需要者は主にどの地区の料金体系に該当するか。
事務局	8 ページのところ、一番下が 150mm という設定があるが村上地区の一番大きい事業者 1 件となる。100mm のところは村上、荒川、神林である。朝日、山北にはない。
会 長	これらの地区で水道のほかに井戸を半分使っているところも存在しているのか。
事務局	井戸を半分使っているという会社もある。
会 長	井戸を掘っても工事費がかからず比較的掘りやすい地区か。
事務局	村上市の場合、地下水が豊富なので、深い井戸を掘らなくてもいいため、比較的ハードルは高くない。

委員	(4) 財政シミュレーションだが、平成 37 年度までは更新など大きな投資の予定はないか。
事務局	荒川地区の浄水場も今年で更新が終わりとなり、次年度からはそれほど大きな投資の予定はない。
委員	次に大きな投資の予定はあるか。
事務局	あるとすれば神林地区、朝日地区の浄水場の更新があるが、早くても平成 40 年度くらいと考えている。小さい投資で済む修繕などの投資はしていこうと考えている。
委員	6 ページの投資・財政計画の建設改良費が毎年同じだが、新たな投資が入っても、シミュレーションの料金で賄えるのか。
事務局	大きく経費が増えていくということはない。
委員	料金パターンが 2 パターン提示されているがどちらの方が有利か。
事務局	平成 28 年の決算ベースに基づいたものは、料金が若干上がるので経営上はいいが、上り幅が大きいので、もう 1 つのパターンである財政計画ベースで試算したほうが現実的である。
委員	投資・財政計画を平成 36 年度まで確保できなかったときにはまた値上げになるのでそういうデメリットがある。そもそも平成 28 年度決算ベースの給水収益をターゲットにすることが望ましいならば、整理する必要があるのではないか。
事務局	まだ統一がされていない段階なので、基本料金の統一を終え、従量料金はなるべく値上げ幅を小さく統一できればと考えている。その次に改定はしなければならぬが、まずは全体をならすことを考えたい。
会長	人口の多い村上の中心地区が、かなりの値上げになってしまう。もっと上げたいのは山々だが、ならすだけで精一杯ではないかとのことでパターンをいくつか示したと理解している。
事務局	「下水道使用料（従量料金）のシミュレーションにつて」説明…資料 2
委員	確認だが、資料の 8 ページを見ると、荒川地区が 30 m ³ で 5,508 円となっている。これは合併前の市町村の料金そのままだと思うが、それだけコストがかかっている高いということなのか。
事務局	処理施設が点在していて数も多い山北地区の方がコストとしては多くかかっている。各地区の現在の料金は合併前の各市町村が設定した料金であり、荒川地区についても他の地区よりコストがかかっているために使用料が高いというわけではない。荒川地区については施設等の整備完了が平成 28 年度と比較的新しく、これから接続率も伸びていくとみている。荒川地区は人口の減少率も少ない地区であり、経費回収率から言えば、施設が老朽化し数も多い山北地区などの方が、荒川地区より 10%くらい低い傾向にあると思われる。
委員	荒川地区は経費回収率の面では貢献しているということか。

事務局 委員 事務局	<p>そう考えている。</p> <p>では、料金をそろえることにはそれなりに合理性があると。</p> <p>そう考えている。村上地区については、処理開始年度は早い地区ではあるが、平成 31 年度の整備完了を目指して整備を進めており、水洗化率も伸びてきている。人口も一番多い地区であるため、他の地区と比べても収入としては大きい。荒川地区と同様、村上地区や神林地区、朝日地区も公共下水道の処理場としては処理場の数も少なく、経費としては比較的少ない。</p>
会 長	<p>上水道、下水道それぞれの観点から料金改定の話をしているが、市民の側からすると上下水道料金として一緒に支払うこととなる。荒川地区の場合は下水道使用料が高く水道料金が安いため、料金改定で下水道使用料が下がり水道料金が上がるとすれば影響は大きくないかも知れないが、村上地区に関してはどちらの単価も上がるうえに、人口も多い事を考えると打撃は大きいのではないかと。</p> <p>下水道課から示されているデータをみると月 30 m³までの排水量の家庭が多く、大家族になると 40 m³くらいになってくるのではないかと思うが、累進制の料金体系にする場合には区切りをどうしていくかも重要になってくる。</p>
事務局	<p>資料 2 の 1 ページ目の表を見ると排水量の一番多いのが 31～50 m³の区分となっている。どういう世帯がこの区分に入ってくるのかも調べる必要がある。</p> <p>また人口の多い村上地区が一番上げ幅が大きくなるため、そこが課題になると考えている。</p> <p>人口の多い地区から、施設が古く人口が少なくなってくる地区に維持管理経費が流れていくようなイメージを持っている。</p> <p>挨拶の中でもお話ししたとおり、国の財政審（財政制度等審議会）においては、受益者負担で賄うべき維持管理費に加え、改築更新や施設の建替えの費用も料金で賄うべきとの話がある。そうなるとなかなか料金では賄えないのが現状であるが、今すぐそうなるということではないようであり、今シミュレーションした期間の中では大丈夫ではないかと考えている。</p>
会 長	<p>年間 1 万円料金が上がったとしても世帯収入の多い世帯が多数であれば問題ないと思うが、世帯人数が少ないなど、収入の少ない世帯が多い場合は料金設定も難しくなってくる。その場合、基本料金を上げた方がいいという意見も出てくると思う。</p> <p>村上市の地区別の世帯構成や世帯所得というのは、調べることができるか。</p>
事務局 会 長 事務局 会 長	<p>確認してみないとわからないが、地区別となると難しいと思う。</p> <p>では市全体ではどうか。</p> <p>確認する。</p> <p>わかる範囲でお願いします。</p> <p>このシミュレーションをみて、村上地区で生活されている委員の方はどう感じるか。</p>

委員	<p>自分の家庭も年金生活の二人暮らしであるが、年金は下がるのに他の様々な費用が上がっていて困っている。水道や下水道については、どうしても必要な経費であり、また、生活に直結している経費であるため、上がるとなると大変。最初の会議に出た時から村上地区は料金が上がるという話を聞いており、避けられないこととは思いますが、市民の皆さんの理解をいかに得るかが重要だと思う。</p>
事務局	<p>下水道の場合は工事が終わってもすぐに接続してもらえない現状があり、料金だけの収入ではどうしても経費を賄えないため、市の一般会計からの繰入れにより賄っている。</p> <p>合併前の料金設定の考え方はそれぞれ旧市町村で違うと思うので、はっきりとはわからないが、例えば、荒川地区の場合、料金が高いというのは一般会計からの繰入れ金を抑えるためとも考えられる。また村上地区では一般会計からの繰入れ金が多くあったので、料金を安く抑えることができたと考えることもできる。</p>
委員	<p>いずれにしろ、税金が含まれているわけだが、自分の住んでいる付近でも本管工事は完了しているが接続はしないという人もいる。</p> <p>自分の家は下水道に接続しているが、付近の方が未接続で家の前の側溝に排水を流しているため、私が掃除をしている状況だ。</p> <p>接続してもらおうと衛生的にも環境的にも良いということを理解してもらいたいと思い、町内の集会などでも話をしているが、お金のかかる事でもあり強制はできない。絶対に接続しないという人もいて、なかなか難しい問題だ。</p>
事務局	<p>村上市では公共下水道と農業集落排水とがあり、全体の接続率はやっと 70%を超えたばかりで、荒川地区と村上地区についてはまだ 60%台と低い状況である。近年、高齢者世帯や核家族が増えている中で、節水型のトイレなども普及しており水の使用量も抑えられるため、接続してもらっても使用量も思うように伸びないと思われ、悩ましいところである。</p>
委員	<p>我々も節水機器に買い替えたりして、使用水量も減少しており、水道の運営なども大変だと思う。</p>
会長	<p>このシミュレーションの 170 円、180 円、190 円という単価設定はどういう理由からか。</p>
事務局	<p>前回の審議会において、今の汚水処理に係る単価が約 180 円程度という話しかから、シミュレーションでは 180 円をお願いするとのことであったため、比較の意味も含め 170 円、180 円、190 円の 3 つの単価で試算を行った。</p>
会長	<p>了解した。</p> <p>受益者の負担で賄うべき経費を使用料で賄うとすると 190 円あたりが妥当だと思うが、一般会計からの繰入れをあてにしないという考え方でいくのか。</p>
事務局	<p>一般会計の繰入れをあてにしないとすると、何千円という単価になると思う。</p>
会長	<p>単価を高く設定した場合は、一般会計からの繰入れが少なくなり、その分一般会</p>

<p>事務局 会 長 委 員</p>	<p>計の自由度が増すという考え方でいいか。</p> <p>そのとおり。</p> <p>今回の資料の他に必要な資料はあるか。</p> <p>他に必要な資料は特にないが、今、国全体の財政については歳出を税収入で賄っていない状況であり、何十兆円も不足している状況にある。このため、過去の公債費の償還と当年度に必要な経費を賄うために、新たに借金することを毎年繰り返している。また、近年は人口が減少しており、第二次ベビーブームには年 210 万人ほどいた出生者が現在は年 97 万人ほどまで減少しているが、この借金を償還していくのはこれらの若い世代の人たちであり、各分野で将来世代に負担をつけ回すことのないよう、みんなで努力する必要がある。</p> <p>その上で下水道を見ると、雨水分の処理費については公費で負担すべき経費であり、それ以外の汚水処理費のうち、使用料で負担すべき経費については、本来、維持管理費だけでなく下水道施設のインフラ部分についても使用料で賄わなくてはいけないが、このシミュレーションを見ると従量料金を累進制にしない限り、維持管理費すら賄えない状況である。</p> <p>国の財政が厳しい状況にあり財政支援の増も期待できない中で、市の下水道事業を考えると、なかなか厳しい現状もあるが、その代わりに市の負担で賄っていいのかの問題となると思う。少なくとも維持管理費分は使用料で賄う必要があると思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>維持管理費については、平成 28 年度から下水道事業団と勉強会をする中で、例えば電気料の契約の見直しなど、大きなものだけではなくて小さなものも含めて経費削減の取り組みを進めているところである。施設や設備の改築、更新についても古くなったから全て直すという考え方ではなく、メンテナンスを行いながら耐えるところは耐え、本当に必要な箇所を更新していくなどの取り組みをしている。維持管理費については、抑える努力もしながら、皆さんの使用料を有効に使わせて頂くという考え方でやっている。</p>
<p>会 長</p>	<p>料金改定のスケジュールが平成 32 年の 4 月からとなった場合は、消費税の引き上げ直後となるため、単価が大きくなる上ると市民の皆様にとっては厳しいものになってしまうが、反面、維持管理費の回収率を上げることは、将来の安全を担保することにもなる。将来世代の負担を軽減するという意味でも大事な視点であり悩ましいところだ。委員の皆さんには難しい問題を検討して頂くことになる。</p>
<p>事務局</p>	<p>今ほど会長からお話があったとおり、来年の 10 月から消費税が上がる予定となっている。料金の改定時期については第 1 回の審議会でもスケジュールについても説明させてもらっており、平成 32 年 4 月以降になるのではないかと考えているが、使用料を抑え、その分を一般会計で負担するとなると他の市の事業にも影響してくるということもご理解いただきたい。改定の時期についても、これから皆様に審議して</p>

<p>会 長</p>	<p>頂く中で、ご意見を頂きたいと考えている。</p> <p>おそらく料金改定の議論が少しずつ進んでいるというのは市民の皆様も漏れ聞くところとなっていると思うが、今、審議会ではシミュレーションをしながら市民の生活を直撃しないような方策も模索して議論しているという情報をホームページや市報などを通じて知らせるようお願いする。また日本水道協会と下水道事業団のお二人にも日頃からメディアに向けて、今、市町村が財政の厳しい中で様々な模索を続けていることを伝えていただければと思う。</p> <p>他に意見がなければ、これで本日の議事を終了する。</p>
<p>事務局</p>	<p>4・その他</p> <p>(1) 事務連絡</p> <p>〈事務局より次回審議会開催時期については、資料の作成状況及び委員の都合を確認のうえ、決定する旨を説明。また委員の報酬及び旅費について説明〉</p>
<p>副会長</p>	<p>5. 閉会</p> <p>〈副会長挨拶〉</p>